

JWIBA

# 女性駐在員の海外赴任制度 について事例調査

個別ケースから見えてきた駐在制度の課題

**2023年8月1日**

# メンバー紹介



女性駐在員8名

年代：20代～40代

業界：

メーカー、IT・情報通信、商社、保険、  
報道機関、大学職員、官公庁など多種多様

女性駐在員に共通する課題に対して  
アクションを起こしたいメンバーが  
「事例調査チーム」を結成

海外駐在員と一口に  
言っても . . .

実は多様だと分かりました

- 既婚か / 未婚か
- パートナー帯同か / 単身赴任か
- 子供がいるか / いないか  
妊娠・出産の希望があるか / ないか
- 子供は連れていくか / 日本に残すか
- 介護はあるか / ないか

# タイプ別に深掘りしました

駐在員のライフスタイルや  
勤務先制度への満足度について  
アンケート調査をしました！

1

婚姻関係  
YES/NO

2

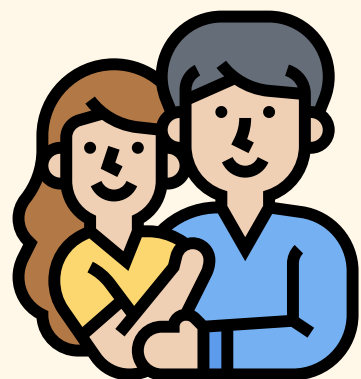
残してきた  
家族がいるか  
YES/NO

3

満足な駐在制度  
/ 不満な制度

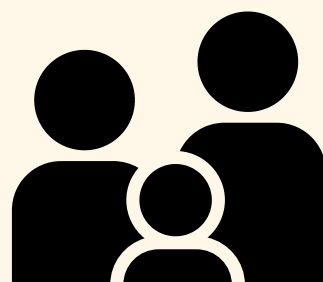
# パターン6つ

1



既婚  
夫帯同・子なし

2



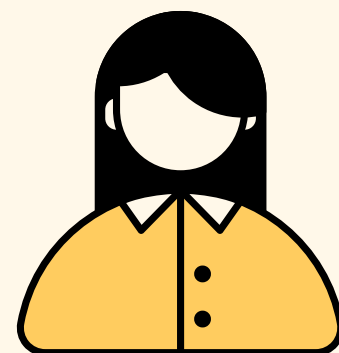
既婚  
夫帯同・子帯同

3



既婚  
夫日本・子帯同

4



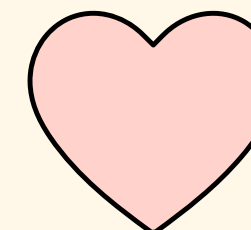
既婚  
夫日本・子なし

5



シングルマザー  
子帯同

6



独身

# Aさんの悩み

## 独身女性（20代）

- ・ 結婚のタイミング



# Bさんの悩み



## 既婚女性（30代）

- ・ 妊娠・出産のタイミング
- ・ 配偶者のキャリア

# Cさんの悩み



## 単身で子供を帯同した女性 (40代)

- ・ 子供の教育費用
- ・ 出張時の子供の扱い
- ・ 配偶者のキャリア



**19名の事例を調査した結果…  
12名が「10段階中5以下」を選択**

**63%が満足  
していかない現状**

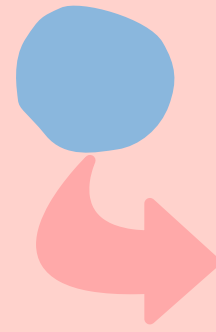
※高い評価をつけた人でも、  
「大満足している」のではなく  
「希望して駐在しているから我慢…」という諦めも

**日本社会において  
女性活躍は必須**

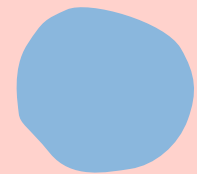
**駐在員が幹部候補になりうる  
日本社会において、  
女性駐在員の活躍は必須**

# 女性駐在員の 悩み (赴任前)

**夫婦共働きのケースが多く、  
特有の悩みがあります  
ベストプラクティスが  
見つけられた事例もあります**



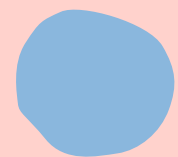
留学・駐在制度で妊娠・出産が想定されていない  
国家公務員は留学中に妊娠することが  
事実上禁止されていたが、OKになった例も



配偶者の勤務先に帯同休職制度がなく、  
帯同のために退職しなければならない



公務員は3年間まで休職できる制度がある  
民間は一部の大企業に限定されている



駐在中は不妊治療手当がない  
日本では公的保険で補償されているが、  
駐在員は企業からの支援が必要になる

# 女性駐在員の 悩み (赴任後)

**夫婦共働きのケースが多く、  
特有の悩みがあります  
ベストプラクティスは  
今のところなし**

● **出張時の保育支援がない：**

米国では家に子供だけを残すことを避ける習慣がある。しかしシッター代も高く、パートナーがいない場合の出張が困難

● **3歳以下の保育代が高い：**

日本では国や自治体の支援で負担が軽減。駐在員への一部補助は一社のみ確認できたが、基本的には幼稚園以降しか支援がない

● **親のビザが発行されない：**

ビザは配偶者と子供に限定され、親の支援を借りることができない

女性駐在員を増やし  
女性の活躍を促すためには  
抜本的な取り組みが必要です

- ・ 女性のライフプランを最大限尊重できる駐在制度の設計
- ・ 女性駐在員のポテンシャルを最大限引き出せる制度の整備

**「他社がこうだから…」  
から抜け出して  
女性駐在員の視点で  
駐在制度を再設計する必要が  
あるのではないのでしょうか**

**例えば「子供を日本に残して単身赴任する女性は少ない」という現状から、  
子連れの駐在員も働きやすい制度設計に工夫をする余地がありそうです**

<本レポートに関するお問い合わせ窓口>

JWIBA運営事務局

[jwiba2022@gmail.com](mailto:jwiba2022@gmail.com)

<免責事項>

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。JWIBAでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JWIBAは一切の責任を追いかねますので、ご了承下さい。

